

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学		講義	石川 倫子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
生体の仕組みを理解することは様々な疾患の成因や病態を知るうえで必要不可欠である。本科目では、人体を理解する上で必要な生理機能について解説する。また、疾患との関わりについても適宜紹介し、病態の成因についての理解を深めるように講義する。				
授業の到達目標				
人体の様々な生理機能について学び、疾患の成因や治療方針が理解できるようにする。				
授業計画				
回	内容			
1	細胞の構造と機能			
2	細胞の興奮と伝導			
3	神経と筋			
4	末梢自律神経系			
5	感覚			
6	中枢神経系			
7	血液			
8	呼吸			
9	循環 心機能			
10	循環 血管機能			
11	腎臓			
12	消化・吸収と代謝 腸管における代謝			
13	消化・吸収と代謝 付属腺の機能			
14	エネルギー代謝と体温			
15	内分泌			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	医療従事者に必要な基礎的生理学知識が身についているかを確認する		
レポート	20%	課題に対し、問われている内容を理解し、自らの考えを理論的に述べているかを評価する		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
Qシリーズ 新生理学	竹内 昭博		日本医事新報社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
みえる人体	佐藤 達夫・松尾 理		南江堂	
自由記載				
備考				